

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



株多田塗装(多田征人代表取締役)の皆さんが4月26日、道の駅「摩周温泉」駐車場の区画線引きと塗装作業を行いました。観光客や町民の皆さんが快適に利用できるようにと行ったもので、皆さん丁寧に作業を行っていました。



開成建設工業株(小澤由明代表取締役)の皆さんが4月24日に昭栄小学校、5月12日に弟子屈小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと毎年行っています。4月24日には、町営球場の整備も実施。丁寧に転圧を行いました。



明盛建設株(藤田利道代表取締役)の皆さんが4月24日、弟子屈小学校前の町道清掃を行いました。子どもたちや地域の方のためにと行ったもので、約20人が参加。土埃などを丁寧に回収したほか、柵(マンホール)の清掃も行いました。

5月23日には、鋸別川河川敷と道路沿いなどの清掃を行いました。社内安全大会の実施に合わせて毎年行っているもので、20年近くになります。約40人が、上流へ向かうルートと下流に向かうルートの二手に分かれて、火ばさみと袋を手にごみを拾い集めました。



クニオカ工業株(今誠代表取締役)と株今道東建設工業(同)の皆さんが5月9日、川湯の敷島みどり橋付近で湯川排水路や河川敷の清掃を行いました。地域の方や観光客に喜んでほしいとクニオカ工業が2005年から毎年行っているもので、今年で10回目。2社合同で行うのは4回目です。上流に向かう班と下流に向かう班の2班に分かれ、ごみを拾い集めました。

5月15日には、昨年に引き続き2社合同で川湯小学校のグラウンド整備を行いました。除草や転圧、傾斜の修正などを行いました。



東星渡部建設株(山村五十三代表取締役)の皆さんが5月21日、奥春別小学校と川湯中学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのために毎年行っているもので、除草や転圧など、丁寧に作業を行っていました。

住み慣れた土地で いきいきとした老後を

養護老人ホーム倅和園・特別養護老人ホーム摩周地鎮祭



くわ入れを行う徳永町長と奥野代表理事(右)

町立養護老人ホーム倅和園と北海道厚生農業協同組合連合会が運営する特別養護老人ホーム摩周の移転新築工事にかかる地鎮祭が5月12日、摩周厚生病院横の建設地で行われました。

地鎮祭には、徳永町長、同連合会の奥野岩雄代表理事ほか工事関係者や地域の方など約100人が出席。工事の安全を祈願しました。

両施設の移転新築については、平成25年4月に設計に着手。新しい施設の居室は全て個室となります。隣接する摩周厚生病院と渡り廊下でつながり、医療と福祉の連携が一層図られるほか、施設内には地域交流ホールも設置。入居者や地域の皆さんの交流の場となるほか、災害時には避難所としても活用されます。

徳永町長は「長年住み慣れた土地で安心して、いきいきと老後を過ご



工事の安全を祈る出席者

せるような施設にしたい。そうした役割をいかにして担うかを、より一層考えていきたい」と、あいさつしました。両施設は来年2月完成予定。同3月から入居できる見込みです。

町の話



町の話

業種を生かし災害時に協力

電気工事業2社・石油業協同組合と
防災協定を締結



調印式を終えて(右から3人目が藤田支部長)

災害時や武力攻撃などの非常事態に、緊急車両や災害対策上重要な施設、避難所、医療機関、社会福祉施設などに石油燃料類を優先的に提供していただくための防災協定です。協定締結式には藤田支部長ほか同組合員4人が出席。藤田支部長と徳永町長が協定書を交わしました。

町と(株)宮田電気(宮田信昭代表取締役)が5月19日災害時に兄弟子屈町所管施設等の応急措置に関する協定を結びました。災害発生時、町が所有する非常用発電機のスムーズな運用について同社から協力を仰ぐための防災協定を結んだものです。3月には(株)大栄電業(近江屋良子代表取締役)とも、同様の防災協定を結んでいます。また同日、町と釧根地方石油業協同組合弟子屈支部(藤田文明支部長)は「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を結びました。



協定書を交わす宮田代表取締役(左)と徳永町長